

白浜町 津波ハザードマップ

日置川地域

想定地震 南海トラフの巨大地震

この津波ハザードマップは、和歌山県が平成25年に公表した「南海トラフの巨大地震」及び「東海・東南海・南海3連動地震」の津波浸水想定を基に作成したものです。

津波からの避難場所は、付近の高台です。地震の揺れを感じたときは、防災行政無線のサイレンや放送を聞いてからではなく、揺れがきたらさっとすぐに避難行動を開始してください。日本大震災の教訓により、想定にかなわなくなるべく、可能な限り高台へ避難することが肝要です。いざというときに、毎日の避難訓練と避難路の確認が有効です。

マップには、町が把握している初期避難場所（高台等 、津波避難ビル 、津波避難タワー ）を表示しています。この他にも、自宅の裏山など近隣の安全な高台への避難をお薦めします。

なお、町が開設する避難所  は、地震・津波の直後の危険性が去った後、避難生活をするために使用するものです。

●津波に関する警報と注意報

津波による災害の発生が予想される場合には、気象庁より「大津波警報」「津波警報」「津波注意報」が発表されます。これまで8段階で発表していた「予想される津波の高さ」について、被害との関係や、予想される高さが大きいほど誤差が大きくなることなどを踏まえ、5段階に集約しました。

	予想される津波の高さ	とるべき行動	想定される被害
大津波警報	数値での発表 10m超 (10m未満)	沿岸部や川沿いなどにいる人は、高台など安全な場所へ避難してください。	木造家屋が全壊・流失し、人は津波により流され、巻き込まれます。
津波注意報	10m (5m未満高き50m)	津波は繰り返し発生して安全な場所、津波警報が解除されるまで安全な場所から離れないでください。	
津波警報	3m (3m未満高き5m)	ここら安心と思わず、より高い場所を目指して避難しましょう！	標高の低いところでは津波が強い、津波警報が発生します。津波波が押し寄せ、巻き込まれます。
津波注意報	3m (1m未満高き3m)		
津波注意報	1m (20cm未満高き1m)	海の中にいる人は、ただちに海から上がって、海岸から避難してください。	海中の人は大津波の流に巻き込まれます。小型船舶が転覆します。

- 震源が陸地に近いと津波警報が閉ざ合わないことがあります。「揺れたら避難」を徹底しましょう。
- 津波は沿岸の地形などにより局所的に予想より高くなる場合があります。また高い場所を目指して避難しましょう。
- 地震発生後、予想される津波の高さが20cm未満で被害の心配がない場合、または津波注意報の解除後も海面変動が継続する場合には、「津波予報(若干の海面変動)」を発表します。

津波到達時間について

この表示の付近における
高さ1m、3m、5m、10m
の津波の到達時間を示
しています。

 初期避難場所(高台等)一覧

No.	名 称	海拔 (m)	緊急避難先 への距離
130	市江地区1(市江崎灯台へ道)	129	☆☆☆
131	市江地区2(市江地蔵尊勝地)	27.9	☆☆☆
132	市江地区3(自月地区裏山)	16.0	☆☆☆
133	笠井地区1(裏山)	13.3	☆☆☆
134	笠井地区2(太平洋岸自転車道)	14.6	☆☆☆
135	志原地区2(裏山)	71.3	☆☆☆
137	志原地区3(春日社直轄地)	15.8	☆☆☆
138	志原地区4(太平洋岸自転車道)	16.4	☆☆☆
139	志原地区5(ハイポイント近口)	18.0	☆☆☆
140	日置地区1(村道避難場所)	25.0	☆☆☆
141	日置地区2(山道避難場所)	50.8	☆☆☆
142	日置地区3(松原避難場所)	30.0	☆☆☆
143	雄野地区1	8.8	☆☆☆
144	雄野地区2(雄野学師敷地)	15.9	☆☆☆
145	雄野地区3(雄野村社敷地)	12.1	☆☆☆
147	雄野地区4(日置川に隣接敷地)	28.3	☆☆☆
148	雄野地区5(栗田川に隣接敷地)	19.7	☆☆☆
149	雄野地区6(栗田川に隣接敷地)	22.1	☆☆☆
150	大古地区1(長寿寺敷地)	10.0	☆☆☆
152	大古地区2(アヅノ川に日置敷地)	8.0	☆☆☆
153	大古地区3(普賢寺付近)	17.2	☆☆☆
154	大古地区4(田瀬谷避難場所)	21.5	☆☆☆
155	大古地区5(秋葉山道避難所)	20.9	☆☆☆
156	大古地区6(山崎前道避難場所)	22.6	☆☆☆
157	大古地区1(裏山)	22.0	☆☆☆
158	矢田地区2(宝勝寺敷地)	15.4	☆☆☆
160	大古地区1(住民交流センター敷地)	6.8	☆☆☆
161	安宅地区2(安宅寺敷地)	13.8	☆☆☆
162	安宅地区3(閑聖地)	34.1	☆☆☆
163	安宅地区4(安宅観音敷地)	7.1	☆☆☆
164	安宅地区5(八幡村寺敷地)	9.3	☆☆☆
165	安宅地区6(三ヶ谷避難場所)	23.2	☆☆☆
167	田野地区1(田野井会館敷地)	9.0	☆☆☆
168	田野井地区3(田野井小学校敷地)	12.0	☆☆☆
169	田野井地区3(天徳寺敷地)	13.0	☆☆☆

津波到達時間

- +1m : 3分
- +3m : 5分
- +5m : 6分
- +10m : 14分

 町が開設する避難所一覧

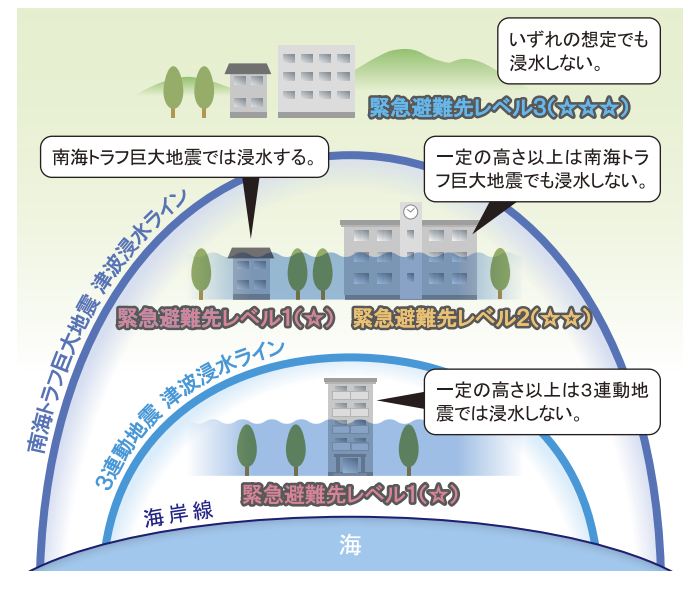
避難所名	住 所	電話番号
市江區民会館	白浜町日置1446番地	—
日置川原公民館	白浜町日置980番地の1	52-2660
住民交流センター	白浜町安宅464番地の1	52-2446
アンブレラ日置	白浜町大古13番地	87-2300
田野井会館	白浜町田野井544番地	52-3476
三舞中学校	白浜町安屋635番地	53-0020
田玉屯小学校	白浜町大村2番地	54-0178
川湯山村活性化支援センター	白浜町市鹿野1100番地	54-0001

●津波ハザードマップの想定地震●

- **南海トラフの巨大地震** **マグニチュード 9.1**
科学的知見に基づき推計した最大クラスの地震です。発生頻度は極めて低くとされています。
- **東海・東南海・南海3連動地震** **マグニチュード 8.7**
約90年から150年周期という高い頻度で繰り返し発生している地震です。

避難先の安全レベルについて

和歌山県は、独自の取り組みとして避難先の安全レベルの設定を行っています。避難先の安全レベルの考え方については次のとおりです。



緊急避難先レベル3(☆☆☆)

「南海トラフの巨大地震」による津波浸水域外の安全な場所を指定。

緊急避難先レベル2(☆☆)

緊急避難先(レベル3)へ避難する余裕がないときの緊急避難先として指定。「東海・東南海・南海3連動地震」による津波浸水域外で、「南海トラフの巨大地震」による津波浸水域内にあり、「南海トラフの巨大地震」による津波の浸水深より高い場所。

緊急避難先レベル1(☆)

「東海・東南海・南海3連動地震」による津波浸水域外で、「南海トラフの巨大地震」による津波浸水域内にあり、「南海トラフの巨大地震」による津波では浸水する場所。
「東海・東南海・南海3連動地震」による津波浸水域内で、「東海・東南海・南海3連動地震」による津波の浸水深より高い場所。

想定地震
東海・東南海・南海3連動地震

津波避難の3原則

- ① 想定にとらわれるな!**

●このハザードマップに掲載している震度分布や津波の浸水域は、あくまでひとつの「想定」です。実際の地震や津波が**想定通りになるには限りません。**

② 率先避難者たれ!

●強い地震や、弱くとも大きな震度があった後は、津波の危険性があります。津波警報などの**情報を持たず避難**しましょう。

●家族が離れたと気づいた場合、速に同行すると避難が遅れてしまいます。津波から逃れた後、**再会すること、自分ひとりでも避難**しましょう。

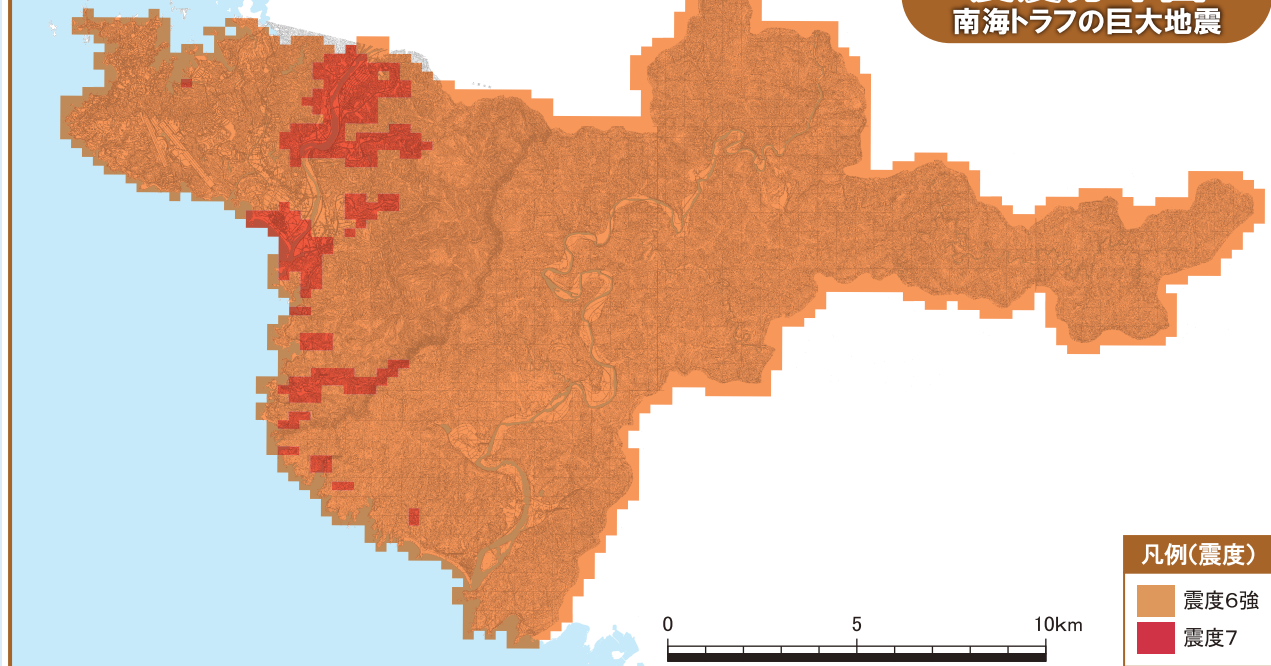
率先して避難することで、周囲の人の避難を促すことに繋がります。

③ 最善をつくせ!

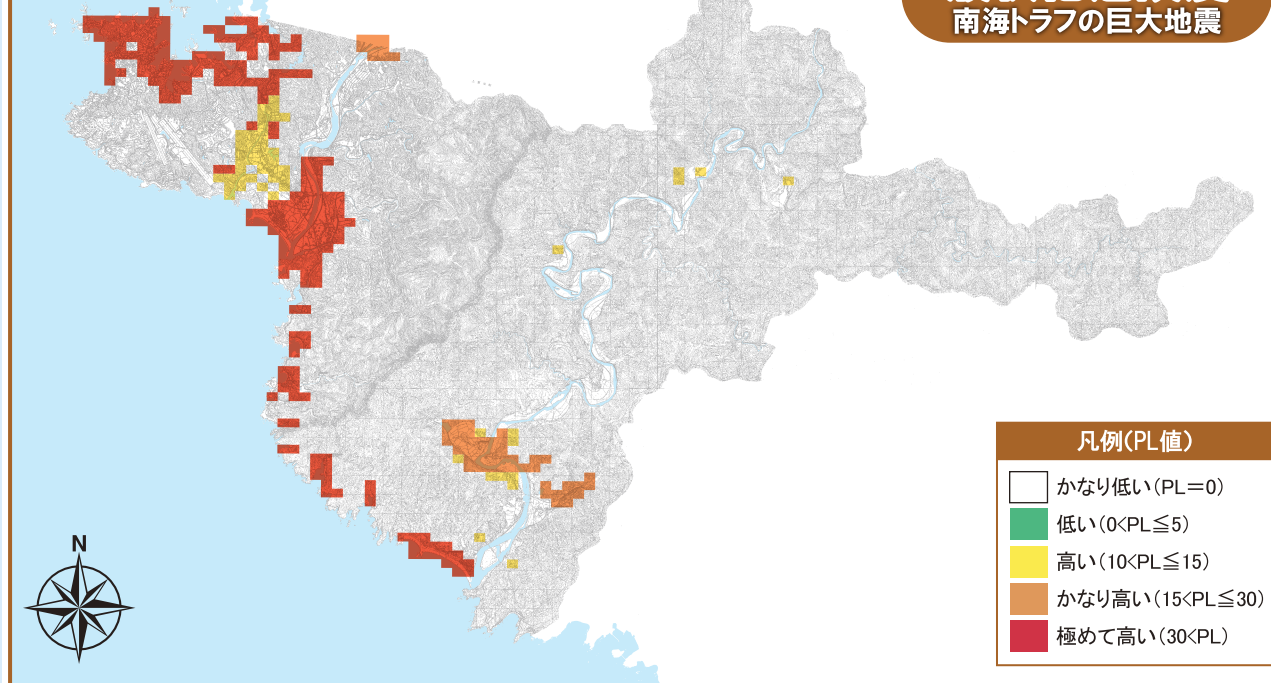
●実際にどこまで浸水するかといったことは、事前にはわかりません。**その時**に考えられる**最善を尽くして、おちつきで避難**しましょう。

参照:群馬大学大学院 片田敏孝 教授著「人が死なない防災」(集英社新書)

震度分布図



液状化危険度



震度分布図及び液状化危険度予測図は、平成26年に和歌山県が作成した調査結果を基に作成したものです。

【発行】 白浜町（平成26年3月作成）